

岩岳スノーフィールド スキー大会など開催時の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策ガイドライン

2020年10月1日

全日本マスターズスキー技術選手権大会・現地実行委員会実行委員会

本ガイドラインは、WHO（世界保健機構）イベントオーガナイザー考慮事項、FIS（国際スキー連盟）Covid-19 オペレーション、日本スポーツ協会（JSA）イベント開催ガイドラインを基に、各加盟団体イベント開催のガイドラインを参照し、本競技会独自のガイドラインとして作成したものです。なお、下記に示す内容は感染状況によって変更する場合もあるのでご注意ください。

№	実施項目	主催者実地基準	その他・準備品等
1	参加募集時の対応	<p>感染拡大防止のために協力を求めること。遵守できない参加者には、他の参加者の安全を確保する等の観点から、参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがあり得ることを周知する。</p> <p>① 以下事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること。</p> <p>ア 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）</p> <p>イ 同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合</p> <p>ウ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合</p> <p>② マスクを持参すること</p> <p>③ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること</p> <p>④ 他の参加者、主催者スタッフ等との距離を確保</p> <p>⑤ 競技会開催中に大きな声で会話、応援をしないこと</p> <p>⑥ 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従う</p> <p>⑦ 競技会終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告する</p>	加する全ての人々にマスク・タオル等持参するよう周知する
2	当日の参加受付時の留意事項	<p>主催者は、当日の受付時に参加者が密になることへの防止や、安全に競技会を開催・実施するため、以下に配慮して受付事務を行う。</p> <p>① 受付窓口には、手指消毒剤を設置すること</p> <p>② 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないように呼びかけること</p> <p>③ 人と人が対面する場所は、アクリル板、透明ビニールカーテンなどで遮蔽すること</p> <p>④ 参加者が距離を置いて（2 m：最低 1 m）並べるように目印の設置等を行うこと</p> <p>⑤ 受付を行う役員には、マスクを着用させること</p> <p>⑥ インターネットやスマートフォンを使った電子的な受付の一層の普及を図り、受付場所での書面の記入や現金の授受等を避けるようにすること</p> <p>⑦ 当日の受付のほか、前日の受付を行うなど当日の混雑を極力避けること</p>	<input type="checkbox"/> 手指消毒剤 <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> 体温計 <input type="checkbox"/> アクリル板 <input type="checkbox"/> 透明ビニールカーテン <input type="checkbox"/> フェイスシールド <input type="checkbox"/> ビニール手袋
3	参加者への対応 【別添に示すように参加する選手は健康調査票を提出すること】健康調査票の提出	<p>体調の確認 主催者は、当日、参加者から以下の情報を主催者が保存できる形で提出を求めること。</p> <p>① 氏名、年齢、住所、連絡先（電話番号）※個人情報の取扱いに十分注意</p> <p>② 当日の体温（過去 1 週間の健康調査票）</p> <p>③ 競技会前 2 週間における以下の事項の有無</p> <p>ア 平熱を超える発熱</p> <p>イ 咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状</p> <p>ウ だるさ（倦怠（けんたい）感）、息苦しさ（呼吸困難）</p> <p>エ 嗅覚や味覚の異常</p> <p>オ 体が重く感じる、疲れやすい等</p> <p>カ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無</p> <p>キ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合</p> <p>ク 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合</p>	<input type="checkbox"/> 健康調査票

4	マスク等の準備	<p>主催者は、参加者がマスクを準備しているか確認すること。なお、運動・スポーツ中のマスクの着用は参加者等の判断によるものとするものの、参加の受付、着替え、運動・競技を行っていない間、特に会話する時には、マスクの着用を求める。</p> <p>(※) マスクを着用して運動やスポーツを行った場合、十分な呼吸ができず人体に影響を及ぼす可能性があることや、熱放散が妨げられることで熱中症のリスクが高くなることを周知する。また、息苦しさを感じた時はすぐにマスクを外すことや休憩を取る等、無理をしないことについても周知する。</p>	
5	競技会参加前後の留意事項	<p>競技会に参加する個人や団体は、競技会前後のミーティングや等においても三つの密を避けること、会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分に配慮する旨を周知。</p>	
6-1	主催者が準備等すべき事項【手洗い場所】	<p>主催者は、手洗いをこまめに行えるよう、手洗い場所を確保すること。</p> <p>① 手洗い場には石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意する</p> <p>② 「手洗いは30秒以上」等の掲示をする</p> <p>③ 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を用意する（参加者に自分のタオルを持参させる。乾燥させる設備は使用しない）</p> <p>④ 手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を用意する</p>	<input type="checkbox"/> 石鹸（ポンプ式） <input type="checkbox"/> ペーパータオル <input type="checkbox"/> 手指消毒液
6-2	主催者が準備等すべき事項【更衣室、休憩・待機スペース】	<p>更衣室、休憩・待機スペースは感染リスクが高いと考えられることに留意する。</p> <p>主催者は、更衣室や、休憩スペース、待機スペース（招集場所）について以下に配慮して準備する。</p> <p>① 広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避ける</p> <p>② ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加者の数を制限する</p> <p>③ 室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、椅子等）については、こまめに消毒をする</p> <p>④ 換気扇を常に回す、換気用の小窓を開ける等、換気に配慮する</p>	
6-3	主催者が準備等すべき事項【洗面所】	<p>洗面所（トイレ）は、感染リスクが高いと考えられることに留意する。</p> <p>主催者は、利用する洗面所（トイレ）について、以下に配慮する</p> <p>① トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）については、こまめに消毒する</p> <p>② トイレの蓋を閉めてから、汚物を流すよう表示する</p> <p>③ 手洗い場には石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意する</p> <p>④ 「手洗いは30秒以上」等の掲示をする ⑦手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を用意する（参加者に自分のタオルを持参させる）</p>	<input type="checkbox"/> 石鹸（ポンプ式） <input type="checkbox"/> ペーパータオル <input type="checkbox"/> 手指消毒液
6-4	主催者が準備等すべき事項【観客の管理】	<p>観客を参加させる場合には、観客同士が密な状態とならないよう、必要に応じ、あらかじめ観客場所のエリア指定をする。（本協議会は無観客大会を想定）また、大声での声援を送らないことや会話を控えること、会話をする場合にはマスクを着用すること等の留意事項を周知する（掲示板などで周知したり、放送等で促す）</p>	
6-5	主催者が準備等すべき事項【会場】	<p>競技会を室内で実施する場合は、換気の悪い密閉空間とならないよう、換気を行う 具体的には、換気設備を適切に運転することや、定期的に窓を開け外気を取り入れる等の換気を行う</p> <p>(※) スポーツ庁作成の「社会体育施設の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」等を参考に、施設管理者とも相談しつつ取り組む。</p>	
6-6	主催者が準備等すべき事項【ごみの管理】	<p>ゴミの廃棄鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用する また、マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒すること</p> <p>なお、本競技会については、ゴミは参加者の責において持ち帰りを周知する。</p>	<input type="checkbox"/> ごみ箱、ごみ袋 <input type="checkbox"/> ビニール手袋

6 - 7	主催者が準備等すべき事項その他の留意事項	主催者は、万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら、当日に参加者より提出を求めた情報（健康調査表等）について、保存期間（少なくとも1月以上）を定めて保存しておくことが必要 また、終了後に、参加者（関係者）から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合や地域の生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合の対応方針について、開催自治体の衛生部局とあらかじめ検討しておく。加えて、現在、導入が検討されているスマートフォンを活用した接触確認アプリは接触率の低減や感染の拡大防止に寄与することを踏まえ、活用を検討してください。	<input type="checkbox"/> 関係部局連絡先
7	チームリーダーズミーティング【監督会議】	ミーティング会場は3密を避け、ゆとりのある場所で行う。なお、屋外であっても会場入口には消毒液の設置、出席者はマスク着用を義務付ける。	<input type="checkbox"/> 手指消毒剤 <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> ハンドマイク（拡声器） <input type="checkbox"/> 非接触型体温計
8	控え室 （更衣室、休憩室）	控え室が密にならないよう、係員を配置し、入室人数制限を行うこと。使用者の待機ラインを明確にすること。	<input type="checkbox"/> ペーパータオル <input type="checkbox"/> 手指消毒液
9	レースオフィス	入室可能なスタッフは次のスタッフとし、オフィス内に待機できる人員について、その他競技役員に周知徹底をはかること。 入室可能スタッフ：JURY メンバー3、セクレタリー1、レースオフィススタッフ3)	<input type="checkbox"/> 手指消毒剤 <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> アクリル板
10	計時計算室・放送室	アクリル板を適宜設置し、次のスタッフのみの入室制限とする。 入室可能スタッフ：計時計算係5、セクレタリー1)	<input type="checkbox"/> 手指消毒剤 <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> アクリル板
11	競技役員	スタート、周回チェック、フィニッシュの各係は、マスク着用を義務化する。またスタート係、フィニッシュ係は選手着用ビブに接触する機会があることからビニール手袋着用を義務付け	<input type="checkbox"/> 手指消毒剤 <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> ビニール手袋
12	閉会式・表彰式	スペースに余裕のあるエリアにおいて、表彰対象者のみの出席とする。	<input type="checkbox"/> 手指消毒剤 <input type="checkbox"/> ビニール手袋
13	報道	レースオフィスにて受付を済ませ、報道用ビブを配布する。マスク着用を原則とすること。なお、選手へのインタビューについては、主催者が指定する場所においてスタッフ監視のもと行うこと。	<input type="checkbox"/> 手指消毒剤 <input type="checkbox"/> マスク